

20. 上信越自動車道の全線4車線化の整備促進について

北信越部会提出
説明担当 妙高市

豊かで活力ある地域づくりのためには、高規格幹線道路から市町村道路に至る道路網の体系的整備を一層推進することが重要であり、雪や災害に強く安全で信頼性の高い交通体系の整備を今後とも推進する必要があります。

しかし、上信越自動車道においては、唯一、信濃町IC～上越JCT間は暫定2車線による対面通行であることから、当区間では、全線開通からこれまで12件の交通死亡事故が発生し、17名の方が亡くなられておりますが、このうち暫定2車線の対面通行であるがための飛び出しによる事故が10件あり、15名の尊い命が犠牲となっております。また、当区間では山岳地である地形や冬期間の降雪があいまって、交通事故や走行不能車両による渋滞が多数発生しており、安全性と定時性の確保は喫緊の課題となっております。

さらに、甚大な被害が発生した平成16年の新潟県中越地震、平成19年の新潟県中越沖地震、そして平成23年に発生した東日本大震災や長野県北部地震における救援活動、また、今後発生が予想される東海地震や東南海地震で太平洋沿岸地域が被災した場合の東名高速道路等の代替道路においても、上信越自動車道は極めて重要な役割を担っており、より迅速な対応を図るためには、全線4車線化が最大の課題となっております。

昨年4月に信濃町IC～上越JCT間の4車線化事業が決定し、長年の悲願である全線4車線化の実現に大きく前進したところでありますが、大規模災害に備えた高速道路ネットワークの整備促進、積雪期も含めた安全性と定時性という高速自動車道の本来の機能確保、また、痛ましい交通死亡事故を防ぎ救える命を救うためにも、全線4車線化の早期実現が強く待ち望まれています。

つきましては、これらの課題を解消するために、下記事項の速やかな実現につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 全線4車線での供用が一日も早く実現するよう、信濃町IC～上越JCT間の4車線化事業を促進し、早期完成を図ること。